

最優秀賞は即内定の中途向け「PR TIMES ハッカソン」を初開催 10月30,31日の2日間で100万件のプレスリリースデータを分析

－ 新卒向けにこれまで7名入社実績のあるハッカソンを中途向けにも開催。10/15(金)申し込み締切 －

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証一部：3922、以下 PR TIMES）は、学生・社会人問わず、開発経験のあるすべての方々を対象とした中途向けには初となる「PR TIMES ハッカソン」を2021年10月30日（土）、31日（日）の2日間にわたり開催いたします。このハッカソンではデータウェアサービス「BigQuery」を使用し、2007年のサービス開始以降「PR TIMES」で配信された100万件超のプレスリリースデータを分析していただきます。



2021年新卒採用内定直結ハッカソンインターン発表の様子

PR TIMES ハッカソン：

<https://prtimes.co.jp/event/hackathon>

エントリーフォーム〈申込締切 | 10月15日（金）中〉：

<https://tayori.com/s/prtimes-hackathon-vol1>

中途向けには初開催となる「PR TIMES ハッカソン」

「PR TIMES ハッカソン」は、2016年より学生向けにインターンとして開催し、通算7名が入社している「内定直結ハッカソンインターン」を、中途向けに初めて開催する PR TIMES 開発本部主催で行う2日間のイベントです。学生・社会人問わず、開発経験のあるバックエンドエンジニアもしくは同等の知識・経験がある方はどなたでもご参加いただけます。

今回は、参加者とは個別に秘密保持契約を締結した上で、累計100万件超に及ぶ PR TIMES のビッグデータを解放し、データウェアサービス「BigQuery」を使って、新たな発見を生み出していただくことがテーマとなります。このデータには、プレスリリース配信サービス「PR TIMES」のアクセスログや、ユーザー情報などデータベース上の一部のデータが含まれます。

技術者として興味のある分野は1人ひとり異なるものと思います。データを元に、どのような数値に着目し、どのような目的で分析するかは自由です。データから気付いた発見や、発見を根拠とした技術的な提案など、どのような提案も可とします。

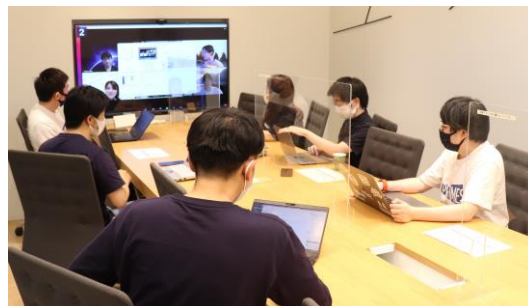
データ分析で導く技術的発見・提案の対象は、「PR TIMES」の事業やプロダクトに限定されません。参加者ご自身の個人開発や、ご自身が携わるプロダクトに関連するものも提出可といたします。日頃のご自身の開発やプロダクト設計に役立つご機会としていただければと考えています。

そして、ハッカソン2日目のライトニングトーク発表を経て、当日中に最優秀賞（※）を決定します。

（※）最優秀賞は該当者無しもあります。

また、当イベントは当社の中途採用選考を兼ねており、技術評価が内定基準相当の方には、最優秀賞の副賞として内定チケットを発行します。この内定チケットはこれまで新卒採用の「内定直結ハッカソン」で実施してきたものですが、今回初めて中途採用でも実施いたします。チケットの有効期限を3カ月間とし、面談での相互の意思確認のもと、選考フロー無しで内定通知を行います。内定チケットは、あくまで最優秀賞受賞者の“権利”であり、就職意向に関わらずハッカソンへ参加いただけます。

2日間という限られた時間でのデータ分析と開発視点の考察は、関わる開発要件に関わらず汎用的なスキルであると捉えています。今回のデータをひとつの題材としながら、ご自身の現在の技術力を押し量る機会として是非お気軽にご参加ください。当ハッカソンの評価審議は当社の執行役員 CTO 金子を中心に、代表山口や役員らを含めて審議し、当日中に結果発表を行います。



2021年新卒採用内定直結ハッカソンインターン選考の様子

実施背景とテーマ設定、開催形式について

当社は2016年以降、大学生・大学院生・高等専門学校生を対象とした2日間にわたる「PR TIMES 内定直結ハッカソンインターン」を計7回実施してきました。実際に、2018年新卒で1名、2020年新卒で3名、2021年新卒で3名の通算7名が、エンジニアとして入社し、現在も活躍しています。2018年新卒入社の櫻井はテックリード（マネージャーポジション）に着任しています。

これまでの学生向けハッカソンインターンでは、「PR TIMES が持つプレスリリースのデータを解析してハックし、新しい企画・サービスを開発する」ことをテーマに開催。初めてチーム開発に挑戦するという学生も多い中で、個人技の発揮よりもチームパフォーマンスを重視し、開発を前に進めることのできる個人やチームが結果的に最優秀賞等を手にしています。毎年、審議で検討を重ねてきた中で、ハッカソンインターンでのチーム開発は当社 Value に合致する人材の採用と相性がいいという気づきがありました。

その上で今回、参加対象を社会人に広げるにあたり、「エンジニアとして得られるものがある」イベントを実現したいと考えました。今回のテーマとしたデータ分析・活用ですが、データを理解することは、意思決定の土台となる重要なファクトを認知することになり、プロダクト開発の工程において現状把握や開発チーム内の認識共有、意思決定につながります。当社にとっても、データ分析・活用は、2021年9月に本格始動した PR パートナー事業において広報 PR サービスに活用をはじめると同時に、「PR TIMES」のプロダクト開発においては今後進めていきたい課題としています。

そして、個人として技術を磨いてきたエンジニアの方々にとって、興味のある分野はそれぞれに異なり、移り変わることに着目し、プレスリリースのデータを解放する点はこれまでと同じですが、チーム形式ではなく個人形式で、目的や対象プロダクトなどの制限項目が限りなく少ない状態で実施することとしました。

【執行役員 CTO 兼 開発本部長 金子より開催に寄せて】

株式会社 PR TIMES 執行役員 CTO 兼 開発本部長 金子 達哉

今後開発本部では、PR TIMES 上のデータ分析を行い、その数値を元にサービス改善を行いたいと考えています。これまでは分析基盤が存在せず、思い通りにサービスの分析が行えていませんでした。そこで、「BigQuery」に社内のデータを保存し、社内のデータ分析基盤として活用するプロジェクトを始めました。しかし、まだ実際に分析をできるようになって間もなく、社内でも活用はこれからというフェーズです。そんな様々な活用の余地があるデータが眠っているはずの PR TIMES の「BigQuery」を使って、サービス改善に繋がるアイデアが知れることを楽しみにしています！



PR TIMES ハッカソン 開催概要

ハッカソンへのエントリー後、参加者の皆様を Slack にゲストアカウントとして招待、当日に向けた詳細のご連絡は Slack 内で行います。

【PR TIMES ハッカソン募集要項】

テーマ：「BigQuery」で100万件超のプレスリリースデータを解き明かそう！

日時：2021年10月30日（土）、31日（日）の2日間

場所：オンライン（Zoom）

参加定員：20名（応募多数の場合はGitHubアカウント上に公開されるリポジトリを元に出発）

対象者：（学生・社会人問わず）開発経験があるバックエンドエンジニアあるいは同等の知識・経験がある方

参加条件：- Google アカウント（Gmail メールアドレス）及び GitHub アカウントがあること

- 事前に秘密保持契約を締結すること

参加費：無料

申込方法：専用ページより、必要事項を明記の上ご応募ください。<https://tayori.com/s/prtimes-hachathon-vol1>

申込期限：2021年10月15日（金）23時59分

参加特典：PR TIMES T シャツ、懇親会用スペシャル BOX（参加希望の方のみ）

技術力・適性を考慮して基準に達した最優秀賞の受賞者に中途基準で「内定チケット」をお出しします。

その他：プログラミングもしくはWEB開発用のPCのご用意と、インターネット接続環境のご準備は各自お願いいたします。

PR TIMES 開発本部について

【体制説明】

開発本部には開発チーム・インフラチーム・QA チーム・コーポレートチームの4チームがあり、それぞれが専門性を活かしながら PR TIMES をはじめ、様々なサービスへの機能追加・改善を行っています。

2021/4 より CTO に金子が着任し、「システム全体のセキュリティ向上」「マイクロサービス化を進めてモノリスの責務を減らす」「モノリスのレガシー改善」の3つの成果指標を掲げ、様々なリリースを行っています。また社員が年次に関係なく挑戦できる開発本部を目指しており、若い社員も含めて挑戦できる体制を作っています。



開発本部とプロダクト本部メンバー

【開発プロセス】

プロダクト開発の上流工程を担うプロダクト本部と密に連携し、開発に集中できるようなプロセスを作っています。リリース前に必ず QA チームによる QA を行い、安全なリリースができる体制にしています。

PR TIMES 開発者ブログ <https://developers.prtimes.jp/>

PR TIMES について

PR TIMES（読み：ピーアールタイムズ）は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、企業とメディア、そして生活者をニュースでつなぐインターネットサービス「PR TIMES」を2007年4月より運営しています。報道機関向けの発表資料（プレスリリース）をメディア記者向けに配信するとともに、「PR TIMES」およびパートナーメディアに掲載し、生活者にも閲覧・シェアされています。利用企業数は2021年5月に5万4000社を突破、国内上場企業46%超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者2万人超、サイトアクセス数は月間5000万PVを突破、配信プレスリリース件数は累計100万件を超えています。全国紙WEBサイト等含むパートナーメディア200媒体以上にコンテンツを掲載しています。

クライアントとメディアのパートナーとして広報PR支援を行うPRパートナー事業や、ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」の運営、動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」の提供、タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」やクラウド情報整理ツール「Tayori」の運営も行っています。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES（東証一部 証券コード：3922）

所在地：東京都港区南青山2-27-25 ヒューリック南青山ビル3F

設立：2005年12月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：
- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<https://prtimes.jp/>)の運営
- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」(<https://prtimes.jp/story/>)の運営
- 広報・PRの効果測定サービス「Web クリッピング」(<https://webclipping.jp/>)の運営
- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR支援の実施
- 動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」(<https://prtimes.jp/tv/>)の運営
- クラウド情報整理ツール「Tayori」(<https://tayori.com/>)の運営
- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」(<https://www.jooto.com/>)の運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>

PR TIMES